



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 大同メタル工業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 7245 URL <http://www.daidometal.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 判 治 誠 吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務兼上席執行役員 (氏名) 佐々木 利 行 TEL 052-205-1401

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	55,910	7.9	5,886	9.7	6,366	14.9	3,902	13.8
25年3月期第3四半期	51,827	△0.1	5,367	△26.2	5,542	△17.5	3,427	△11.7

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 6,701百万円 (68.4%) 25年3月期第3四半期 3,980百万円 (2.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	97.96	—
25年3月期第3四半期	86.04	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	104,256	46,088	36.8
25年3月期	92,314	40,062	36.3

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 38,369百万円 25年3月期 33,488百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,500	9.3	7,100	12.9	7,800	12.5	4,500	2.6	112.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	44,956,853 株	25年3月期	44,956,853 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	5,130,239 株	25年3月期	5,125,695 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	39,829,679 株	25年3月期3Q	39,833,277 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）における世界経済は、米国では雇用環境の改善や株価と住宅価格上昇による資産効果を背景に緩やかな回復が続きました。欧州は持ち直しの兆しが見られるものの依然回復力は弱く、中国経済は一定の成長を維持しつつも投融資の圧縮など構造改革に取り組む中で今後の成長持続への警戒感が強まっており、またその他新興国経済の成長鈍化など、総じて不安定な状況で推移いたしました。

一方、わが国経済は、金融政策等による円高是正や株価上昇を背景に、企業収益の改善や、輸出に持ち直しが見られるなど、緩やかながらも回復基調にて推移いたしました。

当社グループの主力事業である自動車産業分野につきましては、国内は、エコカー補助金終了の反動減等を受けて減少が続いていた自動車販売台数も、景況感の改善に加え、新型車投入の効果や消費増税前の駆け込み需要等から9月以降は増加に転じ、また輸出も堅調であったことから、当第3四半期連結累計期間（4～12月）における国内の自動車生産および販売台数は前年同期実績を上回り推移いたしました。

一方、海外では、欧州域内やインドなどの一部新興国では需要が減少いたしました。成長が続く中国市場や回復顕著な米国市場ならびにASEAN市場などでの需要増加を受けて、世界全体での自動車の生産および販売台数については前年同期実績を上回り堅調に推移いたしました。

非自動車分野における造船業界につきましては、世界全体では、船腹量過剰の状態から新造船の建造量減少が続いており、需給バランスの改善にはなお暫くの時間を要するものと予測されますが、国内の造船メーカーでは、円安による受注環境の好転や、シェールガス革命に伴うLNG（液化天然ガス）運搬船需要の急増等により新造船の受注が前年同期に比べて増加するなど、一部に明るい兆しも見えてまいりました。

建設機械業界につきましては、国内需要は公共投資の増加等を背景に底堅く推移いたしました。また海外では、依然、鉱山機械の需要低迷が続いていますが、中国市場における一般建設機械の販売増加などを受けて、足元では海外全体の需要も増加に転じるなどの動きが表れてまいりました。

一般産業分野につきましては、世界的な発電需要の高まりから、発電設備に使用するタービン等の需要が堅調に推移いたしました。

現在、当社グループでは、中期経営計画（平成24年4月～平成30年3月までの6ヵ年）に基づき、当計画の最終年度において、自動車のエンジン用軸受やターボ用軸受、大型船舶向けの低速ディーゼルエンジン用軸受のみならず、『すべり軸受の全分野での世界トップシェア獲得』の実現に向けて、特に平成24年度から26年度までの前半3ヵ年は、グローバルベースでの生産能力の増強に取り組んでいます。

また、自動車、非自動車の各分野において、既存および新規顧客からの受注活動に注力するとともに、市場や顧客のニーズに応じた研究開発の強化や、販売およびエンジニアリングサービス体制の強化、生産効率の改善などをグローバルベースで進めており、計画に沿って事業基盤の拡大・再構築を着実に具現化してきております。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、国内売上は、ほぼ前年同期並みの水準にまで回復いたしました。これは主に、第3四半期に入り自動車需要の増加を受けて自動車関連売上が回復したことや、舶用・建設機械向けなど非自動車分野での売上減少幅の縮小によるものです。

海外売上は、アジアでは、タイ、韓国を中心に自動車関連が順調に推移いたしました。北米では、自動車関連が堅調に推移し、建設機械向けも回復傾向にて推移いたしました。欧州では、舶用（中・小型船舶向け）が低調な推移となりましたが、自動車関連は欧州の既存および新規顧客からの受注を取り込みながら堅調に推移し、円安効果もあり全ての地域で増加いたしました。

その結果、グループ全体の売上高は559億10百万円となり、前年同期に比べて40億82百万円(+7.9%)の増収となりました。

利益面につきましては、自動車関連の増収効果や、非自動車関連の減収・減益幅縮小に加え、更なる生産性の向上にも取り組んだ結果、営業利益は58億86百万円と前年同期に比べて5億18百万円(+9.7%)の増益に転じ、為替差益3億59百万円の計上等により、経常利益は63億66百万円と前年同期に比べて8億23百万円(+14.9%)の増益となりました。また、旧東京工場の跡地売却益他として特別利益8億76百万円(前年同期比8億15百万円増)を計上し、法人税等合計および少数株主利益(合算で同11億59百万円増)を控除した結果、四半期純利益は39億2百万円と前年同期に比べて4億74百万円(+13.8%)の増益となりました。

当第3四半期連結累計期間における、セグメント毎の外部顧客への売上高は次のとおりです。なお、平成25年7月1日付の組織変更を受けて、第2四半期連結累計期間より、従来「非自動車用軸受」に含めておりました分散型高性能無給油軸受事業を「その他」に変更しております。下記は、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報等を変更後の区分方法により、比較したものであります。

① 自動車用エンジン軸受

需要拡大が続くアジア地域での売上増加に加え、欧州や北米地域における既存ならびに新規顧客からの受注取り込み等により、海外売上が伸びました。また国内売上につきましても、当第3四半期累計期間の後半以降における国内自動車需要の増加等により、前年同期並みの水準にて推移いたしました。その結果、売上高は359億22百万円と、前年同期に比べて40億52百万円(+12.7%)増加いたしました。

② 自動車用エンジン以外軸受

自動車部品用の軸受につきましては、堅調な海外需要や拡販活動の強化等により海外売上が増加したことに加え、国内自動車需要の増加等により国内売上も増加いたしました。その結果、売上高は110億46百万円と、前年同期に比べて7億71百万円(+7.5%)増加いたしました。

③ 非自動車用軸受

非自動車分野の売上高は85億79百万円と、前年同期に比べて7億33百万円(△7.9%)減少いたしました。船用や建設機械用軸受の売上減少幅が縮小に向かうなど、底打ち感が強まってまいりました。また一般産業向けには、電力・エネルギーや液・空圧分野において、発電設備用のタービンなどに使用される特殊軸受の売上が増加いたしました。

④ その他

分散型高性能無給油軸受事業および不動産賃貸事業等の売上高は3億62百万円(同7百万円減、△2.1%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,042億56百万円となり、前連結会計年度末に比べて119億42百万円増加いたしました。

流動資産は、557億61百万円となり、前連結会計年度末に比べて83億55百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金や受取手形及び売掛金の増加によるものです。

固定資産は、484億95百万円となり、前連結会計年度末に比べて35億86百万円増加いたしました。これは主に、設備投資の増加により有形固定資産が33億39百万円増加したことによるものです。

負債につきましては、581億68百万円となり、前連結会計年度末に比べて59億16百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加によるものです。

純資産は460億88百万円となり、前連結会計年度末に比べて60億26百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加に加えて、その他の包括利益累計額合計および少数株主持分の増加によるものです。

自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.5ポイント改善し、36.8%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、70億32百万円の収入となり、前年同期に比べて80百万円収入が増加いたしました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の増加、たな卸資産の減少、仕入債務の増加などにより収入が増加した一方で、売上債権の増加、法人税等の支払額の増加などにより支出が増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、57億35百万円の支出となり、前年同期に比べて4億52百万円支出が減少いたしました。これは主に、有形固定資産の取得などにより支出が増加した一方で、有形固定資産の売却などにより収入が増加したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、51億35百万円の収入となり、前年同期に比べて62億円収入が増加いたしました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものです。

以上により、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、155億59百万円となり、前連結会計年度末に比べて63億62百万円増加いたしました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の世界経済につきましては、弱いながらも回復が続くものと見られますが、米国の量的金融緩和縮小による影響や欧州の景気回復の遅れ、更には新興国経済の成長鈍化など、海外景気の下振れリスクも懸念されます。また日本経済におきましても、景気回復が期待されますが、消費増税や海外景気の下振れにより影響を受ける可能性もあり、国内外ともに不透明な事業環境が続くものと予想されます。

一方、当社グループの足元の業績といたしましては、主力の自動車関連売上は、堅調な海外需要や、国内需要の回復を受けて順調に推移しておりますが、高付加価値製品の割合が大きい非自動車関連売上（特に船用や建設機械向け）におきましては、売上減少幅が縮小傾向にあるものの、未だ回復には至っておらず、また中期経営計画に沿ったグローバルベースでの事業基盤拡大に伴う固定費等の費用増加も見込まれます。

こうした最近の業績動向や為替による影響等を踏まえて、現時点で予想可能な範囲で通期業績予想の見直しをおこない、平成25年11月14日に公表した平成26年3月期（通期）連結業績予想数値について、下記のとおり修正いたします。

### 平成26年3月期（通期）連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 73,500	百万円 6,900	百万円 7,200	百万円 4,400	円 銭 110.47
今回修正予想(B)	77,500	7,100	7,800	4,500	112.99
増減額(B-A)	4,000	200	600	100	—
増減率(%)	5.4	2.9	8.3	2.3	—
前期実績 (平成25年3月期)	70,886	6,286	6,935	4,385	110.10
前期実績対比 増減率(%)	9.3	12.9	12.5	2.6	—

なお、配当につきましては、平成25年5月14日に公表いたしました、平成26年3月期の期末の1株当たり配当予想7円を据え置いております。

(注) 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,752,868	16,286,332
受取手形及び売掛金	19,940,133	21,583,990
有価証券	612	686
商品及び製品	6,565,480	6,609,201
仕掛品	5,473,697	5,836,453
原材料及び貯蔵品	3,160,226	3,045,092
その他	2,565,761	2,455,498
貸倒引当金	△53,414	△56,098
流動資産合計	47,405,366	55,761,157
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,813,070	10,996,370
機械装置及び運搬具(純額)	12,782,020	14,814,694
その他(純額)	15,577,309	15,701,214
有形固定資産合計	38,172,400	41,512,279
無形固定資産		
のれん	972,189	856,815
その他	1,006,406	981,867
無形固定資産合計	1,978,595	1,838,683
投資その他の資産		
投資その他の資産	4,802,837	5,187,475
貸倒引当金	△44,776	△42,725
投資その他の資産合計	4,758,060	5,144,750
固定資産合計	44,909,056	48,495,712
資産合計	92,314,423	104,256,870



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,972,870	5,052,151
電子記録債務	—	6,993,236
短期借入金	10,616,311	9,800,839
1年内償還予定の社債	90,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	8,227,322	6,287,581
未払法人税等	1,577,101	614,407
賞与引当金	1,390,978	786,149
役員賞与引当金	147,700	110,775
製品補償引当金	49,244	55,263
営業外電子記録債務	—	742,047
その他	6,082,736	5,591,134
流動負債合計	39,154,265	36,153,586
固定負債		
社債	75,000	—
長期借入金	5,920,162	15,904,629
退職給付引当金	2,820,784	3,019,317
環境対策引当金	37,471	35,914
資産除去債務	115,210	17,720
負ののれん	4,294	3,894
その他	4,125,148	3,033,379
固定負債合計	13,098,072	22,014,854
負債合計	52,252,337	58,168,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,273,178	7,273,178
資本剰余金	7,946,245	7,946,245
利益剰余金	20,400,881	23,745,343
自己株式	△1,404,836	△1,408,794
株主資本合計	34,215,468	37,555,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	725,883	1,088,236
為替換算調整勘定	△1,452,808	△274,258
その他の包括利益累計額合計	△726,924	813,978
少数株主持分	6,573,542	7,718,478
純資産合計	40,062,085	46,088,428
負債純資産合計	92,314,423	104,256,870

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	51,827,878	55,910,485
売上原価	37,566,192	40,087,414
売上総利益	14,261,685	15,823,071
販売費及び一般管理費	8,893,786	9,936,346
営業利益	5,367,898	5,886,725
営業外収益		
受取利息	14,192	21,779
受取配当金	25,643	39,815
為替差益	130,842	359,416
受取保険金	102,255	—
負ののれん償却額	1,758	470
持分法による投資利益	61,291	116,553
スクラップ売却収入	323,794	374,840
その他	250,849	245,182
営業外収益合計	910,627	1,158,057
営業外費用		
支払利息	381,434	364,497
退職給付費用	258,440	193,088
その他	96,103	120,725
営業外費用合計	735,977	678,311
経常利益	5,542,547	6,366,471
特別利益		
固定資産売却益	—	875,601
投資有価証券売却益	—	638
退職給付制度終了益	61,159	—
特別利益合計	61,159	876,240
特別損失		
投資有価証券評価損	12,930	—
減損損失	—	17,430
特別損失合計	12,930	17,430
税金等調整前四半期純利益	5,590,777	7,225,280
法人税、住民税及び事業税	1,449,038	1,526,869
法人税等調整額	445,925	910,289
法人税等合計	1,894,964	2,437,159
少数株主損益調整前四半期純利益	3,695,812	4,788,121
少数株主利益	268,396	886,038
四半期純利益	3,427,416	3,902,083

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,695,812	4,788,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67,568	388,728
為替換算調整勘定	209,572	1,484,407
持分法適用会社に対する持分相当額	7,237	40,691
その他の包括利益合計	284,378	1,913,827
四半期包括利益	3,980,191	6,701,949
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,664,247	5,442,986
少数株主に係る四半期包括利益	315,944	1,258,962

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,590,777	7,225,280
減価償却費	3,445,325	3,630,956
減損損失	—	17,430
のれん償却額	124,776	127,371
負ののれん償却額	△1,758	△470
持分法による投資損益(△は益)	△61,291	△116,553
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12,284	△5,651
賞与引当金の増減額(△は減少)	△792,500	△606,784
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△68,950	△36,925
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,399,820	159,258
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△116,632	△1,557
受取利息及び受取配当金	△39,835	△61,594
支払利息	381,434	364,497
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△638
投資有価証券評価損	12,930	—
固定資産売却損益(△は益)	—	△875,601
売上債権の増減額(△は増加)	2,216,457	△879,437
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,009,999	463,750
仕入債務の増減額(△は減少)	△956,715	320,307
未払消費税等の増減額(△は減少)	△29,180	99,157
その他の負債の増減額(△は減少)	1,440,335	△28,462
その他	32,263	11,092
小計	8,755,332	9,805,425
利息及び配当金の受取額	39,721	61,978
持分法適用会社からの配当金の受取額	5,720	4,470
利息の支払額	△416,181	△377,217
法人税等の支払額	△1,432,740	△2,462,199
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,951,852	7,032,457

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△380,621	△579,241
定期預金の払戻による収入	121,426	402,163
有形固定資産の取得による支出	△5,768,678	△6,039,838
有形固定資産の売却による収入	101,249	1,177,618
無形固定資産の取得による支出	△221,444	△229,973
投資有価証券の取得による支出	△14,871	△130,420
投資有価証券の売却による収入	—	975
貸付けによる支出	△20,341	△14,926
貸付金の回収による収入	14,843	18,052
その他	△19,587	△339,717
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,188,025	△5,735,308
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,836,437	△1,610,122
長期借入れによる収入	3,648,300	12,633,342
長期借入金の返済による支出	△5,305,243	△4,657,723
社債の償還による支出	△45,000	△45,000
セール・アンド・リースバックによる収入	55,632	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△581,519	△532,783
自己株式の取得による支出	△1,415	△3,957
配当金の支払額	△610,823	△534,309
少数株主への配当金の支払額	△61,095	△113,944
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,064,727	5,135,500
現金及び現金同等物に係る換算差額	30,841	△69,779
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△270,058	6,362,870
現金及び現金同等物の期首残高	10,984,156	9,196,425
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	650,214	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,364,313	15,559,295

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

〔前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)〕

## ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	自動車用 エンジン軸受	自動車用エン ジン以外軸受	非自動車用 軸受	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,870,055	10,274,318	9,312,919	51,457,293	370,584	51,827,878
セグメント間の内部売上 高又は振替高	454,641	652,215	5,660	1,112,517	62,261	1,174,778
計	32,324,697	10,926,534	9,318,579	52,569,810	432,846	53,002,657
セグメント利益	4,292,875	2,658,303	1,834,987	8,786,167	207,045	8,993,212

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、分散型高性能無給油軸受事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

## ② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	8,786,167
「その他」の区分の利益	207,045
セグメント間取引消去	13,554
全社費用(注)	△3,638,867
四半期連結損益計算書の営業利益	5,367,898

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

〔当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）〕

## ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	自動車用 エンジン軸受	自動車用エン ジン以外軸受	非自動車用 軸受	計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,922,175	11,046,176	8,579,149	55,547,500	362,985	55,910,485
セグメント間の内部売上 高又は振替高	386,041	989,756	15,156	1,390,954	64,840	1,455,794
計	36,308,216	12,035,932	8,594,305	56,938,454	427,825	57,366,280
セグメント利益	5,291,824	2,953,960	1,332,689	9,578,474	199,748	9,778,222

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、分散型高性能無給油軸受事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

## ② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	9,578,474
「その他」の区分の利益	199,748
セグメント間取引消去	42,414
全社費用(注)	△3,933,912
四半期連結損益計算書の営業利益	5,886,725

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## ③ 報告セグメントの変更等に関する事項

平成25年7月1日付の組織変更により、従来「非自動車用軸受」に含めておりました分散型高性能無給油軸受事業を「その他」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。